

こんにちは

# 庄内町議会

です



No.66  
6月議会号  
2.7.15



いつもより  
気持ちいい～  
お庭でのダンス

余目第3幼稚園  
関連記事 P.16

- ◆新型コロナウイルス緊急提言……〈要望書〉 P. 2
- ◆条例改正賛否同数……〈子育て応援住宅〉 P. 4
- ◆コロナ禍 町民を守る……〈補正予算〉 P. 6
- ◆4人が緊急質問……〈一般質問〉 P.10
- ◆町の対応を検証……〈委員会報告〉 P.14

# 感染症拡大に伴う 支援に関する要望書

この度の新型コロナウイルス感染症拡大により、町民の生活が一変し、さまざまな面で厳しい状況が続いています。

国の緊急事態宣言が全面解除されましたが、いつまた感染拡大が発生するか予断を許さない状況です。

本町における新型コロナウイルスの感染を防止し、町民の生活と命を守るため、6月定例会の最終日、6月12日に町長に手渡しました。

## 感染拡大 防止

① 福祉・教育施設等の公共施設の感染症拡大防止対策として、科学的根拠に基づいた安全かつ効果的な除菌・滅菌方法を確立し実施すること

## 防災体制の 整備

② 梅雨時期を控え、早急に新型コロナウイルス禍における災害避難態勢を整備すること。特に、障がい者等の要配慮者の避難環境については、深刻な問題が出ることを想定すること

## 子育て・ 教育支援

③ 子育て・教育家庭（未就学児・小・中・高・専門・大）の経済的負担を軽減するために、適切な支援をすること

④ 初めて経験する盛夏期の授業について、子どもたちが学業に専念できる環境を整えること



## 地域経済 支援

⑤ 町内のすべての商店、事業所で使える地域振興券（商品券）を作成し、全世帯に一律に配布すること



議会から町へ緊急要望

# 町へ 緊急提言

# 新型コロナ ウイルス

## 事業者 支援

6 雇用調整助成金等は、申請手続きが複雑であることから、社会保険労務士や行政書士等から協力を得る体制を構築すること

7 今後、新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなると予想される農畜産業への実態調査を行い、町独自の支援対策を講じること

8 庄内町緊急地域経済対策支援金事業のうち、事業持続化支援金については、今後の状況を注視し、第2弾、第3弾の支援措置を検討すること

## 生活支援

9 失業給付を受けている町民に対し、町独自の支援策を講じること

## その他

10 情報通信技術を活用した議会のリモートワークを推進し、タブレット端末機の配布など環境整備を推進すること

11 町の新型コロナウイルス感染症対策本部と議会との迅速な情報共有を行うこと

以上の11項目を本議会の要望事項としましたが、実施する際には、町税完納等を申請や支給要件とすることは、緊急支援としてはそぐわないことを申し添えました。

※この要望書への町の対応については、9月議会報で検証・報告記事を掲載します。



役場での対策は万全



笑顔で乗り越えたい

# 南野・子育て応援住宅

## 入居条件緩和へ

# 議案

# 6月 定例会

## 会期

6月9日(火)から  
12日(金)まで

各会計補正予算  
**6件**

条例設定  
**1件**

条例制定  
**7件**

事件案件  
**1件**

人事案件  
**24件**

発議  
**2件**

契約案件  
**1件**

以上  
**42件**  
すべて原案  
どおり可決

一般質問 4人  
10ページに掲載

## 会期

6月9日(火)から  
12日(金)まで

各会計補正予算  
**6件**

条例設定  
**1件**

条例制定  
**7件**

事件案件  
**1件**

人事案件  
**24件**

発議  
**2件**

契約案件  
**1件**

以上  
**42件**  
すべて原案  
どおり可決

一般質問 4人  
10ページに掲載



なかまがふえた 南野児童遊園

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響その他の災害により、家計収入が減少している子育て世帯を対象に、入居に関する要件の一部緩和並びに、家賃等の減額や免除、その徴収の猶予を、条例に盛り込み改正するものです。

令和2年度一般会計補正予算は、収入支出それぞれ1億7549万円を追加するものです。増加要因は、新型コロナウイルス感染症対策関連で、主な補正は、教育費6572万円、商工費4527万円、総務費2575万円の追加等です。

主な支出としては、小学校・中学校教育系ネットワーク再構築業務委託料・情報通信ネットワーク環境施設整備工事で合計7599万円、庄内町緊急地域経済対策元気もりもり券事業委託料3800万円等です。

債務負担行為補正は、庄内町災害、経営安定対策資金(令和2年の新型コロナウイルス感染症対策資金) 利子補給金、令和7年度まで融資残高に対して0.75%以内の額としました。

賛成多数で可決

# 議長裁決 7対7

ひとり親家庭も  
入居可能に

## 主な質疑

問

コロナ禍の影響で、地方への

関心が高まっており、都市部からのウターインターンが見込める状況でもある。帰郷を考えているとの声もあるがどう考えているか。

町長

6月2日時点で9室の空きがあり、今回の条件緩和では、半分以上のバランスと考えている。

問

3月議会で年齢要件の引上げ

と条例を改正したにもかかわらず、半分に満たない入居率である。見通しや計画が不十分ではなかったか。

町長

4小学区の子どもの減少をカバーしようというものと、高規格道路の整備が進み、現在の場所の入居条件も整い、町外からの人口増が見込めるものと考えている。

問

コロナ対策、家計収入の減少というのであれば家賃の安い町営住宅を紹介するなどの考えはないか。また、生活困窮者

支援というのであれば町内在住者を優先すべきではないか。

### 町長

入居希望者の条件に沿うように対応したい。また、今後情勢においては町内在住者の入居も検討したい。

### 問

オープンして間もないことから、1年間は当初の目的通りの要綱を遵守すべきでないか。

### 町長

新型コロナウイルスの影響がいつ収束するかかわからないなか、早急に対策を講ずることが最善であり、時期を逸する影響のほうが大きいと考えている。また、ひとり親でも入られるという、但し書きでの家族要件の緩和であり、庄内町全体での子育て応援とご理解願いたい。

## 子育て支援センター 安全・安心確保事業

### 次亜塩素酸水は安全か

### 問

次亜塩素酸空気清浄機を整備し、換気だけでは不十分な場所の除菌と空気清浄を行うものとのことだが、文部科学省は新型コロナウイルス感染症防止対策として、児童生徒等には、次亜塩素酸水を噴霧しないよう求める通知を出したが、購入の時期等ど

う考えているか。

### 町長

大型遊具もあり職員だけでは除菌の対応が難しいとのこと。最近では有効性、安全性が明確になっていないという専門家の意見もあり、安心安全を確認したうえで導入したい。

## 工 事 情 報

### 工 事 名

庄内町役場旧庁舎等解体及び外構整備工事

### 工 期

完成 令和3年3月19日

### 契 約 金 額

1億4157万円

### 契約の相手方

株式会社 佐藤組



旧庁舎解体 駐車場増設

## 議会臨時会開催

### 20億円超の追加補正

4月8日と5月1日に議会臨時会が開催され、一般会計補正予算で、それぞれ、1億638万円と2億3665万円が追加されました。主な増額要因は、新型コロナウイルス対策で、国からの1人10万円の特定期額給付金事業費（2億9455万円）です。他には、国からの児童福祉補助金（子育て世帯への臨時特別給付金）や20%プレミアム付商品券等の庄内町緊急地域経済対策事業費等です。

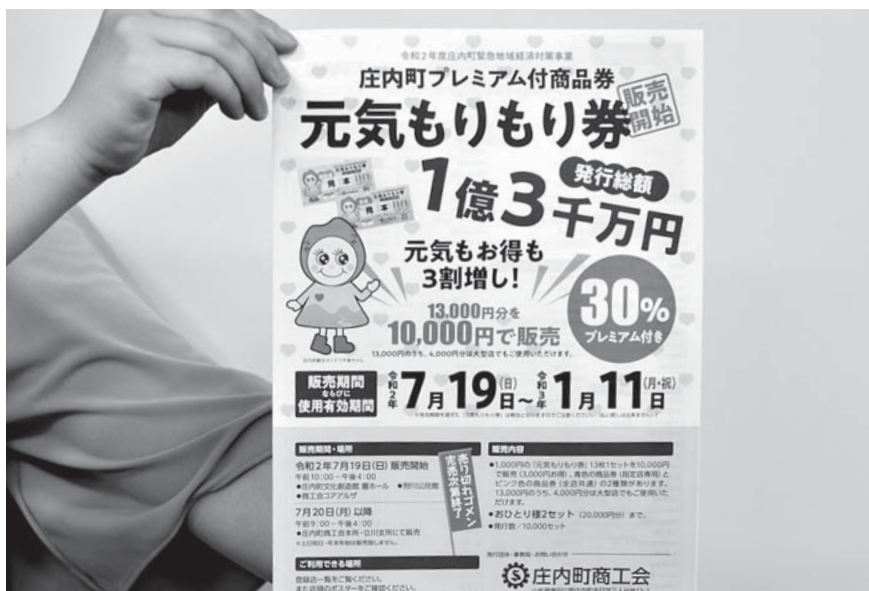


収入減にはありがたい

# 守るための補正予算

今回の新型コロナウイルス感染症拡大による経済の落ち込みは全国的なものになっており、国・県・町ではさまざまな対応を講じています。

国からは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金も地方に配分され、本町でも緊急地域経済対策を行うための補正予算が追加されました。



家計にもお店にもやさしい

30%お得なプレミアム商品券を発行し、家計を  
応援、また、町内消費の拡大を図るものです。

**緊急地域経済対策  
元気もりもり券事業**  
お得もりもり  
5800万円



全国で評価が高い花き生産

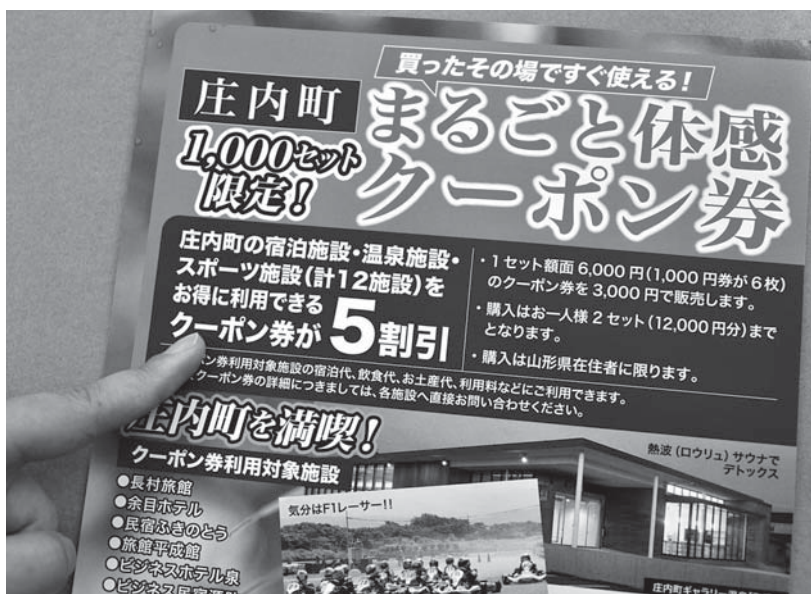
町産の花を公共施設に展示・送付することで花  
き生産者を支援します。  
・庄内町役場本庁舎  
・山形県庁、庄内総合支庁  
・友好町 宮城県南三陸町

**庄内町の花応援・PR事業**  
花便り  
47万円

# 令和2年度 コロナ禍 町民を

50%プレミアム付庄内町まるごと体感クーポン券は、温泉は北月山荘と町湯、スポーツ施設では庄内ゴルフ倶楽部、カートソレイユ最上川、他に町内の宿泊施設等で利用できます。1セットは1000円券6枚つづりで、3000円で販売、1人2セットまでとなります。県内在住者向けに販売し、町内施設の利用拡大を図ります。

**観光施設等誘客支援事業**  
プレミアム50%  
**336万円**



お得感満載



またこのにぎわいを

「たべぐら」と「店逸品」コラボスタンプラリーで、町内飲食店・商店のにぎわい復活を応援します。

**飲食店等にぎわい応援事業**  
にぎわい復活  
**340万円**

※GIGA（ギガ）スクール構想のもと、町内小中学校に1人1台のタブレット端末を整備します。また、整備事業者による教職員へのサポートも行います。

**小中学校情報機器整備事業**  
ICT教育加速  
**3486万円**

**公共的空間安全・安心確保事業**  
感染拡大防止のため、飛沫防止パーティション、非接触型体温計、災害用備蓄マスク等を整備し、公共施設やイベント、健康診断等で使用します。

**事業者の緊急地域経済対策支援金**  
**1550万円**

県支援金に上乗せ、指定業種と指定管理者へ町単独で支援します。

- ① 県支援金上乗せ 10万円×50件
- ② 指定業種  
法人 20万円×15件  
個人 10万円×45件
- ③ 指定管理者 300万円×1件

※GIGAスクール構想：全国の学校で義務教育を受ける児童生徒に、1人1台の学習者用PCやクラウド活用を前提とした高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画をまとめたもの。

# 人事

## 改選委員に

## 期待する

19人の農業委員

1人の教育委員

3人の固定資産評価審査委員

2人の情報公開・個人情報保護審査委員

# 決まる!

### 農業委員

農業委員会改革により、選挙を廃止した2回目の任命です。委員定数19人を一括上程。採決は個別に起立採決しました。

賛成全員 すべて同意

敬称略

遠田雅弘 (提興屋)	佐藤恒子 (茗荷瀬)	八木優 (荒宿)	斎藤克行 (下朝丸)	日下部崇喜 (榎島)	小野隆 (下幅)	佐藤繁 (仲町)	長南統 (連枝)	佐藤優人 (深川)	和島孝輝 (廿六木)	日向弘明 (添津)	若松忠則 (田谷)	小林ひろみ (南野)	川井利光 (古関)	高橋義夫 (大野)	齋藤智幸 (常万)	高橋聡 (前田野目)	秋葉俊 (工藤沢)	五十嵐晃 (中堀野)
---------------	---------------	-------------	---------------	---------------	-------------	-------------	-------------	--------------	---------------	--------------	--------------	---------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------	---------------



### 教育委員

令和2年8月16日で任期が満了する今野委員の後任として、提案されました。

飯淵義晃 **新任**  
(上幅)

賛成全員で同意

### 固定資産評価審査委員

令和2年8月16日で任期が満了することから、2人が再任、1人が新任で提案されました。

松浦一字 **再任**  
(宮曾根)

富樫俊 **再任**  
(新広町)

齋藤信哉 **新任**  
(吉方)

賛成全員で同意

### 情報公開・個人情報保護審査委員

令和2年3月31日をもって委員2名より辞退届が提出されたため、補欠委員を委嘱することが提案されました。

田澤功 **新任**  
(園町)

押切真治 **新任**  
(上朝丸)

賛成全員で同意





# 議員 なり手不足 解消への第一歩

## 庄内町議会議員なり手不足解消調査特別委員会調査報告書

平成31年3月から設置した庄内町議会議員なり手不足解消調査特別委員会では、町民からの意見を取り入れるため、6人の町民有識者から参加を募り、同特別委員会と併せ検討会議も開催しました。会議は特別委員会、検討会議、町民参加型イベントを合わせて27回を数えました。

会議のなかでは、東北公益文科大学の小野英一准教授、新潟県立大学の田口一博准教授からアドバイスを受けながら、なぜ候補者が減ったのか、自らが立候補するため条件はどうか、などを話し合ってきました。定数、報酬についても議論し、意見を報告書としてまとめました。

町民有識者6人の方には心より感謝申し上げます。主な内容を掲載します。

### 検討会議の内容

#### なぜ定数割れに なったか

- ・ 議員の活動が見えない、わからない
- ・ 以前の集落・地域代表議員から、町全体の代表に代わっている。ただし、何の代表かわからない議員もいる
- ・ 議員は憧れの職業ではない
- ・ 引退する際の後継者がいない
- ・ 報酬が低すぎる
- ※現状・課題より抜粋

#### 立候補するために 必要なもの

- ・ 女性議員の出やすい環境づくり
- ・ 議員個人での町政報告会の開催や、後援会報の発行
- ・ 月額報酬30万円以上は必要か
- ・ 専念するための待遇

### 改善

- ・ お金のかからない選挙を実施。選挙についての説明などをわかりやすくする
- ※解決策より抜粋

### 総括

- ・ 議員としてバッジを付けたからには365日議員であるべき
- ・ 専門、両立で分けるのではなく、当事者性を考えるべき。町民からの要求をベースにして、専門性を掘り起こすべき
- ・ 報酬と定数を一緒に考えないと町民が納得しない
- ・ 選挙にならないと良い結果にならない。想定外の人も出馬する
- ※解決策より抜粋

### 委員さんごの意見

- ・ 夜間・休日議会の積極的な導入には検討

### が必要。

- ・ 定数を削減し、報酬の増額を図るべきである
- ▼定数は12人

議会運営に支障のない最低限の人員として12人を下回るべきではない

- ▼報酬は月額28万円
- 現行のままでは、高齢者で年金受給している人や、他の収入がある人だけに高くなる可能性がある、議

員になれる人の範囲を狭めてしまう可能性が高い  
※意見から抜粋

●委員会としての意見は、大きく8項目ありますが決定事項ではなく、議員のなり手不足になっている現状を町民と共有し、将来的な視点に立って議員に立候補しやすい環境づくりに取り組むための参考としていくものです。



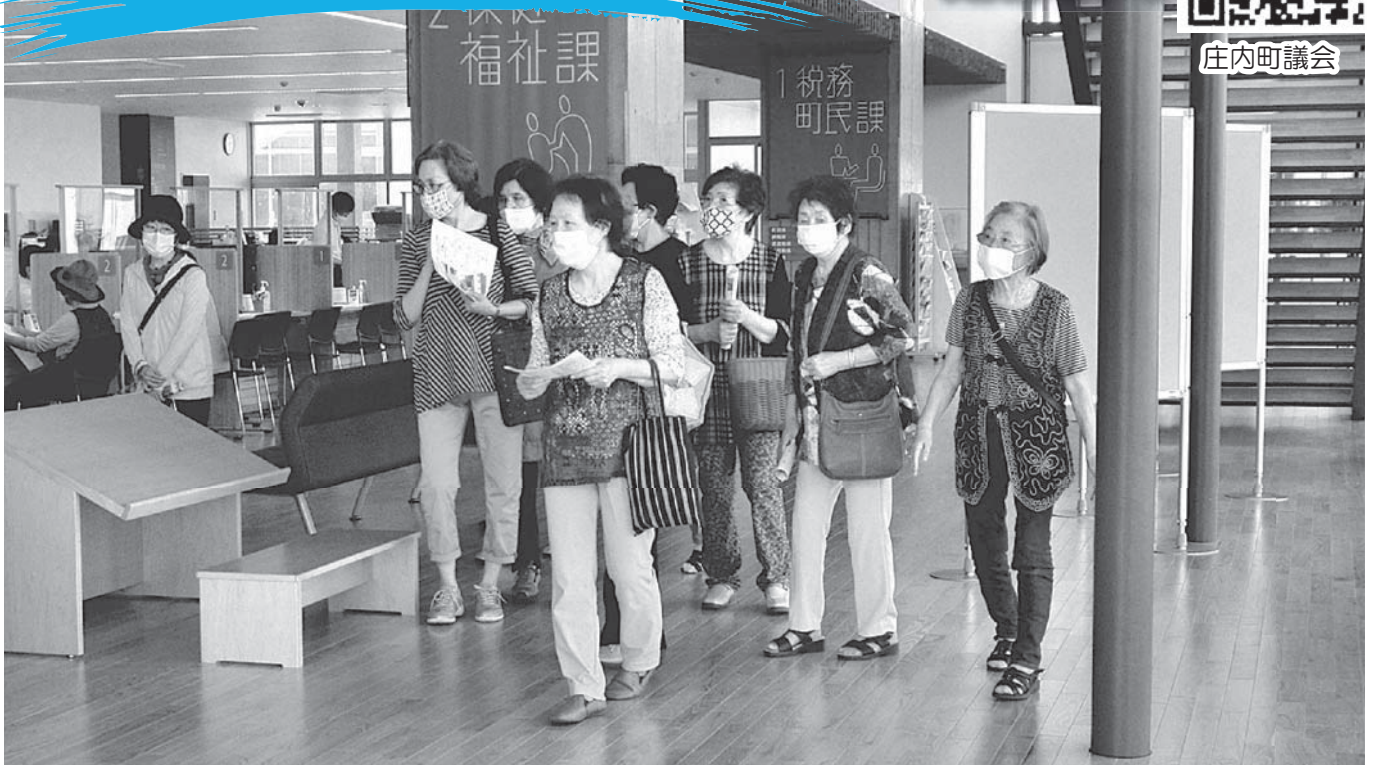
町民からも多くの意見あり

# 町政を問う

## 一般質問



庄内町議会



立派だの～

新庁舎 A 棟

### 質問項目 (●印を 11・12 ページに掲載)

長堀 幸朗 議員

● 臨時休業中の児童虐待防止について…………… P 11

○ 町内学童保育所・保育園・子育て支援センター・幼稚園・小中学校の再開について

加藤 将展 議員

● 新型コロナウイルス感染対策について…………… P 11

鎌田 準一 議員

● 新型コロナウイルスに対応した庄内町緊急地域経済対策について…………… P 12

○ これからの地域経済対策について

工藤 範子 議員

○ 八幡公園・町管理の公園について

○ マスクの配布について

● 農畜産物の支援について…………… P 12

### 一般質問 自粛について

今回は、本町議会史上上初の、緊急性のあるもの以外は一般質問自

粛を申し合わせた上で、6月11日に実施しました。以下その経緯等についてまとめました。

○ 一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって疑問点を質し、施策の実施等を求めるものです。

答弁には相当の準備

○ 自粛の理由

① 3密をできるだけ少なくすることにより新型コロナウイルス感染防止を図るため。

② 職員に町民への新型コロナウイルス対策業務に全力を傾注してもらうため。

なお、議会の自粛については、3月議会以降、話題になっていません。最近、地方公共団体の議会で、何らかの自粛的行動をとったのは、約3割とのニュースもあります。見解の分かれるところですが。

## 休業中の虐待防止

### 対策を徹底せよ

**町長** 状況を確認、対応している



長堀 幸朗 議員

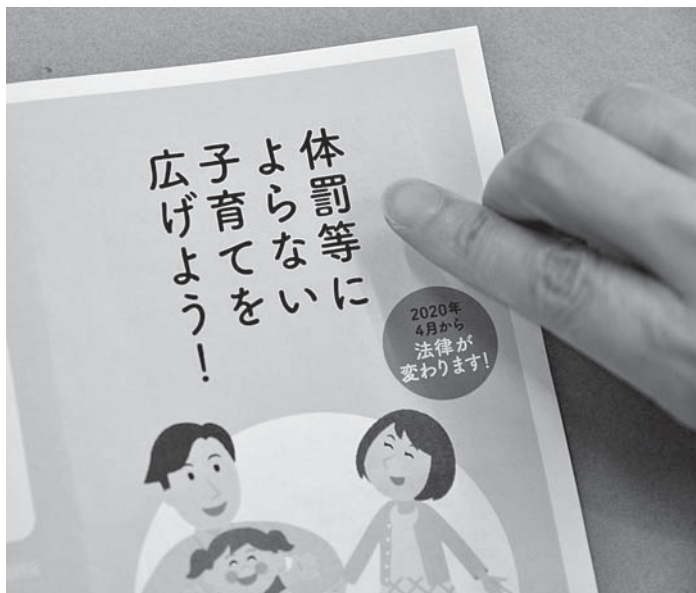
#### 問

臨時休業中の乳幼児や児童生徒の虐待防止対策として、各校長に「見守ってほしい」という依頼文書を送ったとのことだが、その見守り実施の具体的な内容は何か。関係機関との具体的な連携強化の実施内容は何か。

#### 教育長

臨時休業中は各小中学校で定期的に登校日を設けたり、各家庭に電話するなどして子どもたちの状況を確認した。

学校再開にあたり、ガイドラインの内容を確認した上、32項目に



子育てで親も育つ

#### 町長

町では学校休業中に関わらず、日頃から学校、児童相談所、警察など関係機

わたる庄内町のチェックリストを作成し再開を迎えた。現在は、衛生管理マニュアルの「学校の新しい生活様式」に基づいて対応している。

関と情報を共有するなど連携を図っている。

## 感染対策生活支援

### 強化せよ

**町長** 持続可能な支援を検討する



加藤 将展 議員

#### 問

大型予算を組み、全事業者への減収・資金繰り支援、従業員への賃金補てん、生活困窮者、一人親家族、医療従事者、介護職員、子育て・預かり・学童保育の職員、米・畜産・花き農家への支援、ふるさと納税の活用、宅配・移動スーパー、産直販売、観光開発、環境整備、健康支援事業等への支援を強化すべきではないか。

#### 町長

第2次補正の中で、いろいろなメニューが出ている。それらを活用し町内事業者を含め持続可能

な支援を検討していく。

#### 問

財源は図書館建設費を削減し、武道館建設を延期してどうか。

#### 教育長

新たな図書館は事業費の削減が図られるよう実施設計において調整していきたい。また、武道館については、財政状況

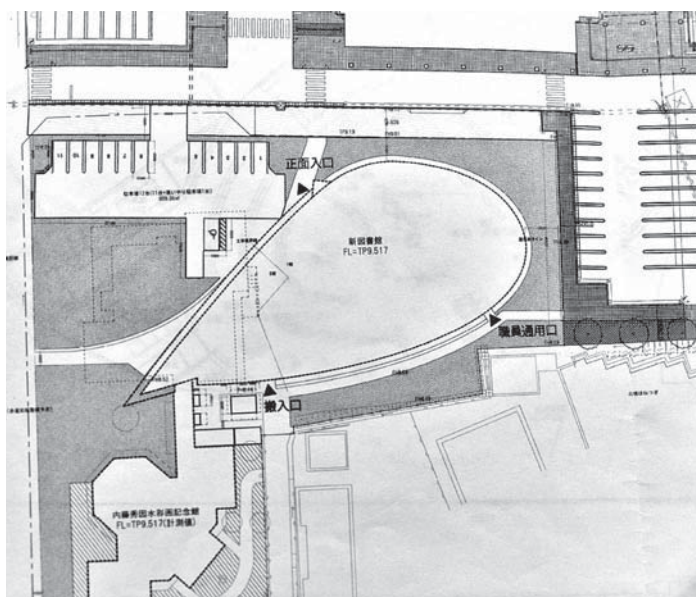
に応じて事業の開始時期を判断していきたい。

#### 問

国・町等の支援策は、一覽にして、利用しやすく改良してはどうか。

#### 町長

町民に分かりやすく伝えられるよう、校正、情報の更新を行っていく。



建設費、削減しませんか 新図書館イメージ

※ 電子マネー決済：現金チャージができ、現金（商品券）と等価なポイントに替えて使用するシステム

**問** 極端に落ち込んだ地域の消費喚起を図るとし、プレミアム付き商品券を発売したが完売したのか。この事業の力は、タイミングと商工会加盟店以外の協力店を含む参加店拡大にある。なぜこの状況下で急ぐ必要があったのか。



参加店が少ないよ

**問** 新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けている農畜生産者に対し、新庄市は肥育牛・繁殖牛・乳用牛を飼養している方々に、一頭当たり5000円、尾花沢市は4月購入飼料費の10%が支援されている。本町の生産者の中には自助努力ではもう限界だとの声もある。



モウ 大変

## プレミアム付き商品券

町長

### 参加店を拡大せよ

状況を見極め慎重に判断する



鎌田 準一 議員

テムを導入してはどうか。

**町長**

プレミアム付き商品券は、6月10日まで30000セット中、2058枚が販売された。

なお、この事業は、国・県の支援事業が始まるまでの繋ぎとしてスピード感を持って実

施したものである。

地方創生臨時交付金の活用方法として、商品券を電子ポイントとして考えられないか、国も検討に入った。またどのような課題があるのか、さらに、どのように進められるのか、状況を見極めたうえで慎重に判断していく。

## 農業支援

町長

### 農畜産者を早急に支援せよ

取り組む必要がある



工藤 範子 議員

**問**

新型コロナウイルス

拡大により影響を受けている農畜生産者に対し、新庄市は肥育牛・繁殖牛・乳用牛を飼養している方々に、一頭当たり5000円、尾花沢市は4月購入飼料費の10%が支援されている。本町の生産者の中には自助努力ではもう限界だとの声もある。

**町長**

従来からの保険制度に加え、今後支援策が出てくると考えている。なお、肉用牛肥育経営安定交付金制度については、標準的生産費を下回った場合に差額の9割が交付金対象だが、1割分についても、県と市町村で支援を講じていくことが示されている。一方、肉用子牛に対する国の緊急対策については、経営改善にも取り組む必要がある。これらの活用について畜産振興協議会や畜産農家の方と話し合いをしていきたい。

# 3つの委員会の構成替え

議会議員の任期4年中、2年が経過しました。委員会の任期満了に伴い、総務文教厚生常任委員会、産業建設常任委員会及び議会運営委員会の構成替えを行いました。なお、議会広報常任委員会は任期が4年のため変更はありません。

## 議会運営委員会

○五十嵐 啓一  
◎齋藤 秀紀  
◎委員長  
○副委員長

(委員は議席番号順)

◎鎌田 準一  
○加藤 将展  
◎委員長  
○副委員長

## 産業建設常任委員会

◎澁谷 勇悦  
○阿部 利勝  
◎委員長  
○副委員長

## 総務文教厚生常任委員会

◎澁谷 勇悦  
○阿部 利勝  
◎委員長  
○副委員長

# 『町民と語る会』

## 募集見合わせのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛要請は解除されつつありますが、3密を避けるため、見合わせることといたします。今しばらくお待ち下さい。

※募集再開日は議会ホームページ、議会広報誌でお知らせいたします。

議会事務局

TEL 0234-42-0189

# 常任委員会の提言 町の対応を検証



総務文教厚生  
常任委員会

## 平成28年6月定例会報告 ふるさと応援寄附金拡大と基金積立を検証

### 1 寄附金の拡大について（抜粋）

**提言** ふるさとチョイス以外のECサイトも活用すべきである。

**検証結果** ふるさとチョイスを含め9サイトに増やしている。

**提言** 魅力ある返礼品を開発するため企画会議を開催し特産物、地元産品の開発に努めるべきである。



**提言** 魅力ある返礼品を開発するため企画会議を開催し特産物、地元産品の開発に努めるべきである。

**提言** 魅力ある返礼品を開発するため企画会議を開催し特産物、地元産品の開発に努めるべきである。

**提言** 魅力ある返礼品を開発するため企画会議を開催し特産物、地元産品の開発に努めるべきである。



**提言** お礼状のほか、ダイレクトメールも送

るべきである。

付しリピーターを確保すべきである。

**検証結果** お礼状やダイレクトメールは実施している。リピーター率は増加傾向にあり令和元年度では35・4%であった。



**提言** ふるさと応援寄附金は、希望使途アンケートが反映される使い方、特徴ある事業に使うため、基金として積み立てるべきである。

**提言** ふるさと応援寄附金は、希望使途アンケートが反映される使い方、特徴ある事業に使うため、基金として積み立てるべきである。

### 2 寄附金の使途について（抜粋）

**提言** ふるさと応援寄附金は、希望使途アンケートが反映される使い方、特徴ある事業に使うため、基金として積み立てるべきである。

**提言** ふるさと応援寄附金は、希望使途アンケートが反映される使い方、特徴ある事業に使うため、基金として積み立てるべきである。

**提言** ふるさと応援寄附金は、希望使途アンケートが反映される使い方、特徴ある事業に使うため、基金として積み立てるべきである。

**提言** ふるさと応援寄附金は、希望使途アンケートが反映される使い方、特徴ある事業に使うため、基金として積み立てるべきである。

**提言** ふるさと応援寄附金は、希望使途アンケートが反映される使い方、特徴ある事業に使うため、基金として積み立てるべきである。



魅力たっぷりの返礼品

望使途とし、寄付者が使途を選択できるようになっている。現在5つの特徴ある事業に使うため（庄内町ふるさと納税HP参照）基金を設立し積み立てている。

## 平成29年6月定例会報告 財政健全化3億円縮減達成したか

### 1 財源確保に向けた取り組み（抜粋）

**提言** 町県民税、国民健康保険税の納税や公共料金の新規滞納の防止部門、滞納処分部門を一元化した専門部署を設置するべきである。

**提言** 町県民税、国民健康保険税の納税や公共料金の新規滞納の防止部門、滞納処分部門を一元化した専門部署を設置するべきである。

**提言** 町県民税、国民健康保険税の納税や公共料金の新規滞納の防止部門、滞納処分部門を一元化した専門部署を設置するべきである。

**提言** 町県民税、国民健康保険税の納税や公共料金の新規滞納の防止部門、滞納処分部門を一元化した専門部署を設置するべきである。

**提言** 町県民税、国民健康保険税の納税や公共料金の新規滞納の防止部門、滞納処分部門を一元化した専門部署を設置するべきである。

**提言** 町県民税、国民健康保険税の納税や公共料金の新規滞納の防止部門、滞納処分部門を一元化した専門部署を設置するべきである。

**提言** 町県民税、国民健康保険税の納税や公共料金の新規滞納の防止部門、滞納処分部門を一元化した専門部署を設置するべきである。

### 2 歳出削減に向けての取り組み（抜粋）

**提言** 第2次庄内町行財政改革推進計画（歳出一般財源充当3億円縮減）は現実的な目標を掲げるべきである。

**提言** 第2次庄内町行財政改革推進計画（歳出一般財源充当3億円縮減）は現実的な目標を掲げるべきである。

**提言** 第2次庄内町行財政改革推進計画（歳出一般財源充当3億円縮減）は現実的な目標を掲げるべきである。

**提言** 第2次庄内町行財政改革推進計画（歳出一般財源充当3億円縮減）は現実的な目標を掲げるべきである。

**提言** 第2次庄内町行財政改革推進計画（歳出一般財源充当3億円縮減）は現実的な目標を掲げるべきである。

**提言** 第2次庄内町行財政改革推進計画（歳出一般財源充当3億円縮減）は現実的な目標を掲げるべきである。

**提言** 第2次庄内町行財政改革推進計画（歳出一般財源充当3億円縮減）は現実的な目標を掲げるべきである。



# 追跡

## 5段階評価



産業建設  
常任委員会



生かされた ⇒ 継続努力 ⇒ 要努力

### 平成28年6月定例会報告 交流人口拡大に向けた施策と効果を検証

#### 1 宿泊施設誘致の 可能性について(抜粋)

**提言** ビジネス利用

者のうち7割強が本町に新たな宿泊施設があれば利用するとしている。参考にすべきである。

**検証結果** 町は既存の宿泊事業者6人から宿泊施設誘致についてヒヤリングを行っている。

**提言** 国の地域未来投資促進法に基づき、県が山形県観光分野基本計画を策定したことで事業が具体化し、すでに令和2年予算で補助金が計上され、取り組む事

業者を公募している。



#### 2 道の駅設置による 効果について(抜粋)

**提言** 特産品の開発

や出店会員の拡大を図る必要がある。出店会

員の拡大は、特徴ある商品を取り扱う町外の生産者や業者にも拡大し、庄内地方の玄関口としての役割を構築すべきである。

**検証結果** 出店会員

は目標の1000人に達した。令和元年度の売り上げ実績は約1億280万円と伸び

#### 1 経営について(抜粋)

**提言** 認定農業者の

現行での所得確保をするためには、10a当たりの所得が高い野菜を導入し、複合経営への誘導を図るべきである。



**検証結果** マニユア

ルについては各農協で作成しており技術指導も行っていることから、町では作成していない。

**提言** また、圃場整備については水稲にむけた整備であるため畑地化を想定していない。

#### 2 マニユアルと圃場 整備について(抜粋)

**提言** 増収による所



売り上げは伸びています



### 平成28年12月定例会報告 土地利用型農業の所得拡大を検証

てきており、庄内地方の玄関口としての役割も徐々に充実してきている。

得向上(大豆、そば)については、地域別にモデル圃場を作り、県と町、農協で庄内町に合った増収のための栽培マニユアルを早期に作るべきである。

# 生声ひろば

余目  
第3幼稚園

## 戻りつつある日常

6月12日に、余目の廿六木にある余目第3幼稚園の長村美緒園長先生から、コロナ禍での取り組みについて、お話を伺いました。

**問** お庭でのダンスなど子どもたちも楽しそうですね。

**答** 子どもたちもいろいろと生活面で制約がある中、今日はとても天気がいいので、むしろ熱中症に気を使いながら、外で元気に遊ばせています。

**問** マスクをしないのはそのためですか。

**答** はい。お役所から、外で体を動かして遊ぶときは、マスクを外してもよいとの指導を受けていますので。

**問** 新型コロナウイルスの影響はどうですか。

職員全員が感染防止

に気をつけています。このため、幼稚園のいろんな事業ができていません。保護者の皆さんにもこれからも協力をいただきながら、子どもたちと一緒に楽しめることを工夫して、時間をかけてやっていきたいと思っています。

子どもたちにもインタビューしました。

**問** 外で遊んでどうでしたか

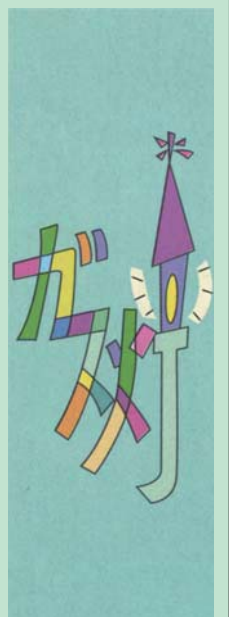
**答** 楽しかった。

すこし暑かったけど、風が吹いていつもより気持ちよかったです。

先生の皆さんも子どもたちも、コロナ感染防止に注意しながら、一生懸命に頑張っている様子がとても印象的でした。



ちょっとは、はなれよう



▼前回の3月定例会以降、山形県内でも新型コロナウイルスの感染者が確認され、庄内地方でも酒田市、鶴岡市で残念ながら感染者が出てしまった。山形県内では60人以上の感染が確認されたが、幸い、庄内町からは感染者は発生していない。

▼4月16日から非常事態宣言の対象区域が全国に拡大され、庄内町も例外なく、さまざまな影響が開始、特に飲食店はほとんどの店舗が営業自粛をした。

しかし、各店舗が工夫をこらしテイクアウトで営業を続けた。

▼国の定額給付金、いわゆる国民一律10万円給付については、5月1日の臨時議会で早急な対応を求めたところ、

議長 吉宮 茂

議会広報常任委員会

委員長 國分 浩実

副委員長 澁谷 勇悦

委員 鎌田 準一

委員 加藤 将展

委員 阿部 利勝

委員 長堀 幸朗

両輪となって、この難局を乗り越えたい。

國分 浩実